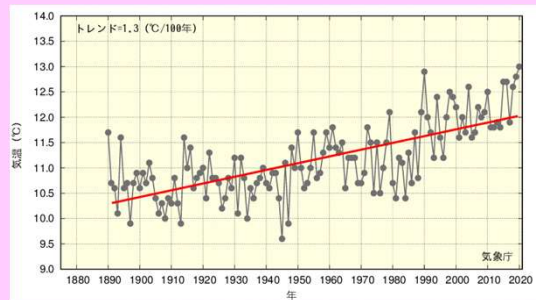


山形県気候変動適応センター

環境科学研究センター内にある気候変動適応センターでは、気候変動の影響や適応に関する情報収集、整理、分析を行い、県民のみなさまが気候変動の適応を進めるためのサポートを行っています。

気候変動（温暖化）の影響

山形県の年平均気温の変化



気温

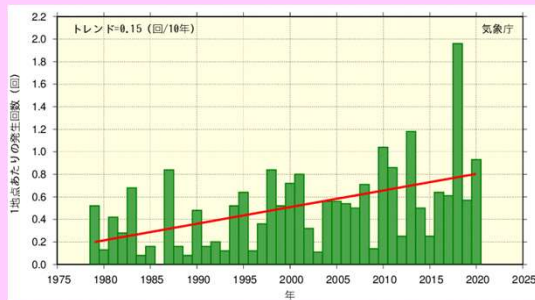
山形県では年平均気温が100年あたり約**1.3°C**の割合で上昇しており、気候変動（温暖化）が進んでいます。

例えば...

短時間強雨

山形県では1時間に30mm以上の短時間強雨の回数が増加しており、40年間で約**4倍**になっています。

山形県の1時間降水量30mm以上の発生回数



「緩和」と「適応」

温暖化対策には2つの取組が必要です。

■緩和

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和とは？

原因を少なく

2つの

気候変動対策

適応とは？

影響に備える



■適応

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

山形県が取り組む適応策

	農林水産業	農産物の高温耐性品種、家畜の暑熱ストレス軽減技術、気候変化に対応した水産資源の養殖生産・資源造成技術など、温暖化に対応した技術の開発
	水環境・水資源	湖沼・ダム湖、河川等の水温上昇や水質変化等の調査研究 渇水に対応するための関係機関との情報共有
	自然生態系	森林被害の調査や野生鳥獣の適正な管理などによる農林水産被害の軽減 外来生物等の状況の把握と捕獲・採取
	自然災害・沿岸域	洪水ハザードマップ作成と「流域治水」の推進 砂防施設等の整備と効率的・効果的な維持管理
	健康	熱中症に対する注意喚起や予防・対処法についての普及啓発 デング熱等感染症のまん延に備えた情報提供
	産業・経済活動	企業の事業内容に即した気候変動適応の推進、新たな適応ビジネスの創出につながる情報提供 降雪時期の遅れや降雪量に左右されない通年型の観光誘客対策
	県民生活	病院等の公共施設や重要インフラの強靱化 災害による被害発生時の迅速な対応に備えた連携の強化

今日からはじめよう！個人でできる適応の取組

これらは「適応」の一例です。

① 自然災害にそなえよう！

温暖化によって雨が降る日が少なくなる一方で、一度に降る雨の量が極端に多くなり、大型の台風が来る可能性があります。災害にそなえるために、避難場所や避難経路を調べておくことも大事です。



② 熱中症を予防しよう！

温暖化が進み、気温が上がることで、熱中症になる可能性が増え、これまで以上に熱中症に気をつける必要があると考えられています。暑い日は、水をこまめに飲んだり、外に出るときは、帽子をかぶったりして、熱中症を予防しましょう。

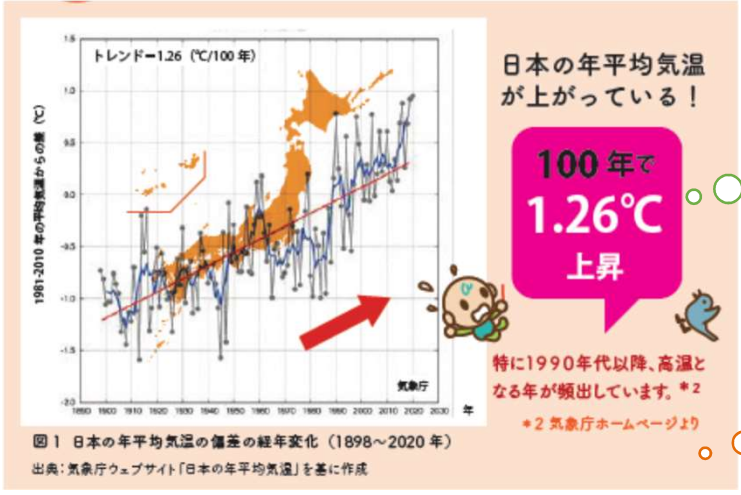


③ 水を大切に使うよう！

温暖化によって、雨が降る日がだんだん少なくなる可能性があります。ふだんから水を大切に使いましょう。エネルギーの節約にもつながります。



山形県気候変動適応センターでは 地球温暖化や気候変動への適応に関する 出前授業や図書・パネルの貸し出しを 行っています



地球温暖化について
調べたい..
授業をしたい..

地球温暖化で日本の
未来はどうなるの？

学校の教材を
探している..

イベントでパネル
を展示したい..

気候変動への
適応ってなに？

緩和 とは？ 2つの 適応 とは？

原因を少なく 気候変動対策 影響に備える

緩和策の例

- 節電・省エネ (OFF button, light bulb)
- エコカーの普及 (car icon)
- 再生可能エネルギーの活用 (solar panel, wind turbine)
- 森林を増やす (tree icon)

CO₂ ↓
温室効果ガスを減らす

適応策の例

- 感染症予防のため虫刺されに注意 (mosquito, person with bite)
- 熱中症予防 (hat, water bottle)
- 災害に備える (house, flood, earthquake)
- 高温でも育つ農作物の品種開発や栽培 (fruit, person working in field)
- 水利用の工夫 (water tap, person watering plants)

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること(緩和)が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと(適応)が重要です。

そんなときは 気候変動適応センターにご相談ください

出前授業や図書/パネルの貸し出しをご希望の方は、
山形県気候変動適応センター
(山形県環境科学研究センター内) まで

場所：山形県村山市楯岡笛田3-2-1
(山形県環境科学研究センター環境情報棟)

電話：0237-52-3132 mail：ykankyose@pref.yamagata.jp



温暖化に関するもの以外でも
環境科学研究センターでは多くの資料を揃えています